

サポートセンター通信

No. 61

発行元：松本市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手3-8-13
松本市役所大手事務所2階
TEL/FAX: 0263-88-2988
Mail: support-center@support-center.jp
URL: http://www.support-center.jp

NPO セミナー 地域創生の担い手はあなたです。

1月12日、サポートセンター主催のNPOセミナー「地方創生の担い手はあなたです。」が基調講演を皮切りにスタートしました。上田の認定非営利活動法人侍学園スクオーラ・今人の長岡秀貴理事長の著書題名からいただいた演題『世の中変える』で食う方法～若年者の自立を支援する～には40人の聴講者が集まりました。

NPOは、地域の社会資源であり社会課題を顕在化する役割にあること、また、「運営」という従来の視点から「経営」という視点に変換する必要性をお話いただきました。特に「資金があるならNPOである必要がない」すなわち「NPOは資金がなくてもいい」といえるのかと。NPOは資金集めをすることがそもそもの活動ミッションと同等に活動を継続するために必要不可欠であるということ学びました。参加者からは「NPO法人だからこその悩み、苦しみなど、初めてまとめて話していただける方にお会いした気がする。お金の部分でも何かすっきりしないものがあつたが、打開策もあると感じた。」「これからのパッションをいただいた」と勇気づけられたとの感想をたくさんいただきました。

改めてNPOの存在意義を問いただす機会でもあり、「変えられない」と思われていることが「変わる」瞬間、そのときのために活動を続けるのだという長岡氏のエネルギーで熱いトークに魅了された2時間でした。このあとフォローアップ講座<入門編>と<実践編>で自身の活動と行動に結び付けていってもらえる予感がしています。



市民協働フォーラムを開催します

市民活動団体の状況等を把握するために実施した「サポートセンター設立10周年アンケート」の結果では、「協働したい」と回答した団体が76%あり、協働の重要性が再確認されています。

また、市では、地域づくりの基盤となる市民活動と協働を推進しながら地域づくりを推進する「市民活動と協働を推進するための基本指針」を平成27年12月に策定し、今後様々な施策を展開していきます。

そこで、新しい基本指針を切り口に、市民協働の具体的なデザインをワークショップ形式で考え合うフォーラムを開催します。

日時：1月30日（土）14:00～16:15
（受付 13:45～）

会場：松本市民活動サポートセンター
定員：40名 ※事前申込み
問合せ：松本市民活動サポートセンター

※「サポートセンター設立10周年アンケート結果」および「市民活動と協働を推進するための基本指針」の詳細は、サポセンHPをご覧ください。



プラチナフォーラム 「プラチナ人生を華^なやかに生きる」

プラチナ世代の皆さんが新たな活動への一歩を踏み出すきっかけづくりのための基調講演会と交流会を開催します。

日時：2月28日（日）13:00～17:00（12:30開場）
会場：松本市総合社会福祉センター4階大会議室
対象：プラチナ世代（おおむね55歳以上）の方
参加費：300円（お茶菓子代）
内容：基調講演「笑いは心と脳の処方せん～地域デビューでいきいき仲間づくり！～」
講師：昇 幹夫氏（産科医、日本笑い学会副会長）
交流会（プラチナサポーターズ活動発表、ワールドカフェ）
主催：プラチナフォーラム実行委員会
問合せ：松本市民活動サポートセンター

まつもと震災支援ネットワークフォーラム 命をはぐくむ お母さん達へのメッセージ

鎌仲ひとみ監督最新作「小さき声のカノン」の上映会と講演会を行います。また鎌仲監督を交えてのフリートークの時間も！今疑問に思っていることや不安なことなどみんなで語り合いませんか？
日時：2月20日（土）10:00～15:40（9:30開場）
会場：松本市中央公民館(Mウイング)6階ホール
参加費：500円（Mウイング駐車券補助あり）
定員：120名 ※事前申込みで無料託児あり
主催：松本市・まつもと震災支援ネット
問合せ：松本市民活動サポートセンター



さぼせん日記

12/4 ヤングサロン2015 シャベリ場・まなび場

若者が集まり、さまざまなテーマでまちづくりについて意見交換するキックオフミーティングが開催されました。

地域や市民活動において担い手不足といわれる昨今、各方面で若者の参加が求められています。サポートセンターに登録するNPOや市民活動団体も次世代の担い手不足に悩んでおり、若者の意見を聞きたい、若い人に興味を持ってほしいと考えています。

若者×NPO...若者とNPOの出会いで何か生まれないだろうか？そんなことを期待しての呼びかけにボランティア活動をしている高校生、大学生、また休日できるボランティアを探しているという社会人など8名が集まってくれました。やってみたいこと、今感じている社会の課題などグループに分かれてブレインストーミング。



農家の減少問題や独り暮らしの高齢者の居場所づくりなど具体例がでました。次回からNPO関係者をゲストにリレートークを開催していきます。

12/10 プラチナサロン

年末サロンの恒例になった絵手紙講座。

年賀状の参考になると毎回参加者が多い。描いた作品を貼り出し鑑賞会をしたところ、同じ手本なのにみんな違う“おサルさん”。

よく見ると描いた人にそっくりだ。誰が描いた作品か分かってしまいみんなで大笑いしました。



12/10 ぶれあいサロン

午前中の障がい者就労施設の販売会はフリースペースの座る場所がないほど満員御礼に。活気あふれる交流ができました。午後は小松規美子さんの演奏に合わせてクリスマスソングを大合唱して一足早いクリスマスを楽しみました。



支える人たち

～子ども見守りボランティア 犬飼 敏一さん～

雪の降る12月某日、午前7時。島内駅西側の踏切では、目覚まし時計に紐をつけて首からかけている「時計のおじちゃん」こと犬飼さんが、登校中の子どもたちや社会人の方々々とハイタッチしながら挨拶を交わしていました。笑顔で道に立つ犬飼さんにお話を伺いました。

— ここに立つようになったきっかけはなんですか？

13年前に島内の新橋で、子どもが刃物を持った男に追いかけるという事件があったんです。それでその翌日から私はここに立っているんですよ。当時全国的に物騒な事件が起きていたんだけど、子どもは地域の宝だから、せめて私の目の前でだけはそういうことが起きてほしくないという気持ちで始めたのがきっかけ。

— なるほど。ところで首に時計をさげているんですね。

子どもたちがいつも「いま何時？」って聞いてくるから、目覚まし時計を首にかけるようにしたの。そしたら子どもたちがこんなにたくさんシールを貼ってくれて、いつのまにか時計のおじちゃんと呼ばれるようになった。

— 子どもたちと仲良しですね。毎朝立っているのですか。

今は家の用事があるから火曜日と木曜日だけだけど、月水金曜日も放課後立てる様に予定を調整中。朝から布団の中にもぐっていたらどんどん弱っちゃうけど、子どもと会えるからちゃんと来れるんです。笑顔でタッチしてくれるだけでビタミンもらった気分になるし。そして、楽しい会話がたくさんあります。自分の中で一番きれいな言葉

があつて。ある子に学校に誘われて一緒に行ったことがあるんだけど、「ここは大きなお風呂だよ」と

説明してくれるわけ。そしたら桜が風に舞ってきて、「あれは桜の滝風呂」と。グラウンドをお風呂にたとえているんです。こういう子どもの感性は本当にすばらしいよね。

— 印象的だった出来事はありますか。

「学校に行きたくないなという日が何度かあったけど、おじちゃんが立って待っていてくれると思うと通うことができました。」という作文をもらったことがあって、その時は本当に嬉しかった。

— いちばんの変化は何ですか？

ここに立って13年になりますが、一度も風邪をひいていないんですよ。(笑) 子どもが好きで、自分ですぐやれるこういう活動を通して子どもたちにいつも元気をもらっています。



これからは3世代がつながれるような地域づくりを目指したいと犬飼さん。楽しいからとシンプルな気持ちで活動に取り組み続ける姿が印象的でした。(インタビューー：なかがわ)

アトリエMOO

E-mail : info@atorie-moo.com (代表 : 中野 清)
URL : <http://www.atorie-moo.com>

「アトリエMOO (む〜)」は平成14年、障がいを持つ子どもの母親たちが、子どもたちが学校卒業後、自立した生活ができるよう機織りの技術を習得するために始めた活動をきっかけに発足した。平成22年には長野県から障害者自立支援法による、就労継続支援B型として事業所指定を受け、障がいを持つ人々の就労の場となっている。

主な活動内容としては、アトリエMOO内の「おやきカフェ」の運営、おやきや手作り作品の販売、清掃作業やポスティング、さらに地域交流として地域活動、お祭りへの参加などがある。また、出張でイベント参加（おやきなどの販売）もしている。その中のひとつ、市民活動サポートセンターで行われているふれあいサロンにて、支援員の横山菜々見さんと、メンバー（施設利用者）のお二人にお話を伺った。

おやきを作るのも、販売するのも楽しいという二人。なかでも、ひじきなどのおやきの具材の重さを量ったり、洗い物を頑張ったのだという。そう話す二人の顔は輝いて



ふれあいサロンの
ようす(→)

見えた。販売中は大きな声でお客様に挨拶したり、おつりの計算を一生懸命している姿が印象的だった。

現在の課題は、「おやきカフェ」の存在や場所を広く知ってもらうことだと横山さんは言う。アトリエMOOは、浅間温泉の活性化とともに発展して、障がい者が社会の中で生き生きと生活できるように活動している。来店者が増えれば交流も多く持たれ、売上が上がればメンバーの工賃も上がる。そうなることで、「継続して働ける職場」「障がい者の個性にあった地域貢献」「安心できる住まい」の実現を目指している。

2月にはリサイクルマーケットの開催を予定しており、出店者、来場者ともに募集中とのことなので、一度「おやきカフェ」に顔を出してみたいかだろうか。(くさま)

未来地域研究所

E-mail : npomtk2015@gmail.com (代表 : 鳥羽 俊矢)
HP : <http://bit.ly/gwcdotlab>

特定非営利活動法人未来地域研究所は、昨年5月25日に設立された新しい団体である。設立に至る経緯、活動について鳥羽俊矢理事長にお聞きした。

「私は地域役員をやっており、担い手不足を感じていました。そこに東日本大震災があり、復旧には若者をはじめ多くの住民同士の繋がりが不可欠でした。もし松本市が被災した時、その状況を乗り越えていくためには人々の繋がりが、参加参加が重要だと感じたのです。例えば、住民が負傷して病院へ運ぶ時、運搬ルートはどうするのか。食料はどこにどのくらい備蓄しておくのか。非常事態でリーダーシップを発揮できる人がいるのか。多くの直面する事態をクリアしていくためには、①地域の担い手不足を解消しておくこと ②人材を育成しておくことが必要です。そして、「新たな試み」も必要です。そのために未来地域研究所を設立しました。」

未来地域研究所が運営するコミュニティスペース「GWC.LAB」は活動拠点であり上記を達成するための



オープニングパーティー
でのひとコマ(→)

重要なプラットフォームである。G(ゲーム) W(ワーク) C(コミュニティ). (ドット) LAB (実験的にやってみよう) が表すように、様々な企画を行っている。ゲーム大会、起業支援、非営利地域活動支援、コミュニティビジネスの構築、スマホゲームの作成、無料で自由に使えるスペースなど、個のスキルアップと人を繋げる空間である。その他の事業として地域課題や防災のファシリテーションも行っている。

最後にこうお話しくださった。「『〇〇しちゃお』。これが私たちの大切にしていることなのです。多彩な企画や取り組みによって様々な世代の人が交流を持つ。世代関係なく集まり、自分の知識や技術を提供し共有する。誰もが役割と個を確立し、社会や地域の未来と安全を担う。そのための環境を整えていくことが社会や地域への貢献と信じています。」(はやし)

INFORMATION : お申込み・お問合せは各団体に直接お願い致します。



イベント・募集情報をお寄せください。

サポートセンター通信やホームページで、イベント情報や募集情報などをご紹介します。



えんぱーく WOKSHOP MARATHON 2016

このワークショップ・マラソンは、あなたが架空の組織“えんぱーく社” CEO となって、新しいプロジェクトを考えるものです。10 時間という時間をかけて多様な参加者が議論することで新しい発見が得られます。

- ◆日 時：1月23日(土) 9:30~19:30
- ◆会 場：塩尻市市民交流センター
- ◆参加費：無料
- ◆問合せ：塩尻市市民交流センター交流支援課
E-mail collabo@city.shiojiri.lg.jp

信州岩波講座／まつもと 子育て支援団体へ本を寄贈

身近な問題・関心をテーマに、多くの人々とともに講座を通して学び、問題意識を高めながら、より幸せな社会をつくり出していくことをめざします。

- ◆寄贈内容：岩波書店児童図書目録から児童図書の寄贈
- ◆寄贈団体：数団体
- ◆申し込み：1月29日(金)までに、申込書に必要事項を記入の上お申し込みください。
- ◆問合せ：松本市人権・男女共生課
TEL 0263-39-1105 FAX 0263-37-1153

NPO法人設立講座《中信会場》

NPO 法人を立ち上げたい！設立の手順は？どんな活動だと認められるの？そんな疑問に担当者がお答えします！お気軽にご参加ください。

- ◆日 時：1月28日(木) 13:30~
- ◆会 場：長野県松本合同庁舎2階 205号会議室
- ◆対 象：NPO法人を立ち上げて社会貢献活動をしたい方
- ◆申込み：長野県県民文化部 県民協働課 協働・NPO係
高田 真由美(課長) 柳澤 和希(担当)

平成 27 年度 松本市ボランティア交流集会

地域社会や家庭の機能が大きく変容していく中、人々の暮らし方は多様化し、それぞれの地域の中で住民同士が支え合う仕組みづくりが求められています。さらなるボランティア活動の活性化を願う交流集会です。

- ◆日 時：2月6日(土) 9:30~15:30
- ◆会 場：松本市総合社会福祉センター4階
- ◆参加費：無料
- ◆問合せ：松本市総合社会福祉センター内
TEL 0263-25-7311

地域づくり推進研修【総合教育センターとの共催講座】 「子ども・若者の支援と地域づくり」

ひきこもり、不登校等の青年を対象とした自立支援事業の企画・運営を担当してきた講師を招いて、若者の可能性を引き出すための関わりか方について学びます。

- ◆日 時：1月28日(木) 9:40~16:00(受付9:10~)
- ◆会 場：長野県総合教育センター 長野県公民館運営協議会
- ◆参加費：無料
- ◆問合せ：長野県生涯学習推進センター
TEL 0263-53-8822 FAX 0263-53-8825

KHJ 長野県「らい鳥の会」第4回月例会

当事者あるいは家族として、どう引きこもりについて向き合っていくか、みなさんとお話しします。

- ◆日 時：2月20日(日) 13:30~16:30
- ◆会 場：なんなんひろば ※休憩室あり
- ◆参加費：1家族1000円(資料代として) 当事者無料
- ◆問合せ：KHJ 全国ひきこもり家族会事務局
TEL 080-3433-4904 (唐沢)
E-mail info@khj-h.com

森カフェ コーディネーター養成講座

森カフェは、「カフェのように気軽に行ける森」のことです。森カフェをあなたの地域で開催しませんか？開催のノウハウをお伝えします。

- ◆日 時：1月30日(土) 10:00~15:00
- ◆会 場：上小曾部転作促進研修センター／ハイジの森
- ◆対 象：森カフェに関心のある方、開催してみたい方
- ◆参加費：初年度限定1500円 ※森カフェテキスト代含む
- ◆申込み：NPO法人わおん TEL/FAX 0263-87-3005
E-mail waon@ac.auone-net.jp



編集後記

新年あけましておめでとうございます！本年も皆さまにとって更なるご活躍の一年となりますようお祈り申し上げます。今年の冬は暖かく、過ごしやすい日が続いていますね。例年のきりっと冷えた空気が恋しくも感じる今日このごろです。庭の梅が早くもひとつ花を咲かせていました。(なかがわ)

